

令和3年1月14日

本部長 各位

役員 各位

公益社団法人 全日本不動産協会

公益社団法人 不動産保証協会

理事長 原 嶋 和 利



令和3年を迎えるにあたって（ご挨拶）

あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、恙なく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、本年は目下の新型コロナウイルス感染症の蔓延により各本部とも新年賀詞交歓会の開催を見送られたところでございます。本来であれば直接皆様の前に参りまして祝詞を申し上げるべきところですが、このような状況を踏まえまして、本年は本書をもって新年のご挨拶を差し上げたいと存じます。

ご案内のとおり、昨年末の与党税制改正大綱におきましては、住宅ローン控除制度の床面積要件緩和や固定資産税の全用途にわたる課税標準据置きなど本会からの主要な要望事項が見事に汲まれた内容となりました。あらためまして、ここに至るまでの皆様のご理解とご協力に心より感謝を申し上げます。

本部長各位におかれましては、会員の皆様が、このような税制面でのまたとない追い風を存分に活用されたうえで、これまでも増して不動産の流通を促進していただき、是非とも地域経済の活性化に貢献をなされますよう、ご周知いただきたくお願いを申し上げます。こうした全日会員の取組みを通じて、明るく豊かな社会の実現に寄与することこそが、本会の最も重要な責務であると信じておりますので、引き続きご尽力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

末筆ではございますが、一刻も早く現在の状況が終息し、社会が安心、安全な生活を取り戻すこと、そして会員の皆様並びにご家族、従業員皆様の今年一年のご健勝と益々のご隆盛を心より願いつつ、新年にあたってのご挨拶とさせていただきます。